

「BSパネル」採用の家

ビオ・ハウス・ジャパン 内覧会開催

前橋工科大発ベンチャー企業「ビオ・ハウス・ジャパン」(代表・

石川恒夫助教)は、このほど、北群馬郡吉岡町の建設現場で「吉岡の家」の内覧会を開いた。自社開発した釘打ちの無垢材集積パネル「BSパネル」を採用。県産木材利子補給

制度も活用し、県産スギをふんだんに使った住宅となっている。住宅では、60ミリの厚のパネルに羊毛を使った断熱を施した。

建築物は木造2階建て、延べ床面積約140平方メートル。在来工法にBSパネルを組み合わせた住宅。BSパネルは、接着剤を使わず釘止めで板材を集積し、壁面を構成する。この

構造材には12センチ角の柱を使用。内装は、壁紙を使わず木部の現しと珪藻土の塗り壁。床には30ミリの厚の無垢板を使用している。玄関に至る屋根付き通路には屋上緑化を取り入れ

た。また、県の「杉百本家づくり」制度を利用。カウンターや階段板などを除いた部分すべてに県産木材を使っている。

BSパネルを採用した住宅は6棟目。工期は約半年間で、施工は林藤ハウジング(前橋市敷島町、林慧次郎社長)が手掛けた。



県産木材がふんだんな「吉岡の家」の内観